アヴィエスファミリー「お住まい拝見レポート」

同居のための家づくり。もみの木の感触に癒される暖かい家が出来ました。

次世代の住まい
AVES CASE 34
宮城県仙台市
Kさんの家
取材日／2013年1月

来客の多いK様邸。取材日に遊びに来ていた息子さんと甥っ子さんと一緒に記念撮影しました。
外は大雪でしたが、スピンオフの壁ともみの木の床の断熱効果のおかげで、「蓄熱暖房も朝と夜に少し使うだけで暖かいんです」とK様。夏も涼しくエアコンはほとんど使っていないとか。

「毎日この独特の感触をいいなぁと思える。飽きないんですよね」。入居して半年、もみの木の床を心から気に入って下さっている様子のK様。長い間マンションに暮らしていたK様夫妻が家づくりを決めたのは、奥さまのご両親宅が東日本大震災の津波で被災したことがきっかけでした。家を新築し同居することにしたのです。2011年秋、りんくうタウンのモデルハウスで「中に入ってすぐ、もみの木の床の感触が気に入りました」とお2人。セミナーにも参加し、スピンオフの壁やDGHクッキングヒーターなど「健康を考えた家」に共感、契約の運びとなりました。

K様は初めての一戸建てにいろいろ戸惑いもあったそうですが「なるほどと感心する提案も多く、細かい所まで何度も変更してもらいました。現場では必ず施工部分を説明して、図面と実際とを確認しながら進めてくれたんです」と、丁寧な対応に安心して家づくりを楽しんだ様子でした。

「よく『家は3軒建てる』といわれますが、初めての家でこんなに満足できるとは思いませんでした」とK様。間もなく同居するご両親も柔らかな暖かさのある家を気に入ってくれているそうです。

一戸建てでの新しい暮らしを楽しんでいるK様夫妻。建築中、近所の方が現場のスタッフにお茶を出してくれたこともあったとか。都心のマンション暮らしとは違ったご近所付き合いにも温かいものを感じているようでした。

K様は、マンションにお住まいでしたが、津波で被災された奥様のご両親と同居する為、戸建を検討され、昨年9月にご来店頂きました。ご主人は、元々木が好きで『どうせ建てるのなら木を使った家を』と思っていたそうです。奥様のこだわりは、展示場と同じように吹き抜けになっている広々とした玄関と、階段・2階ホールの装飾手摺りでした。LDKもとても広く、奥様のご要望で木質L型キッチンにしたことで、さらに奥行と豪華さがアップしました。ご主人は決断力のある方で打合せがスムーズに進みました。また、お二人のセンスの良さで、とても素敵なお家が出来上がりました。このお家でご家族皆様、そして地元から遊びに来る奥様の友人C様も含め、健康で、楽しい生活を送って頂きたいと思います。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

担当より一言

営業
山家

ダイニングでのくつろぎのひととき。
壁のシールアートは奥さまのアイデア

CASE34:宮城県仙台市 Kさんのお宅

家族構成　夫・妻　奥さまのご両親（予定）
延べ床面積42坪　部屋5LDK
こだわり設備:もみの木の床　スピンオフ壁

キッチンから廊下→水回りへ回遊性を持たせた間取り。
階段下（左扉）、床下、正面など収納スペースもたっぷり。

寝室の隣に設けたウォークインクローゼット。
2人分の衣類が余裕で収まる4.8畳の広さ。

▲ 同居するお父様のご希望もあり、来客も多いことから男性専用トイレを作りました。前面に消臭効果のあるもみの木を施しました。

◀ 玄関から吹き抜けを見上げたところ。光が降り注ぐ空間です。

モデルハウスのような広々とした玄関。「部屋のスペースが狭くなっても玄関とホール部分を広く取りたいと思いました」と奥さま。

対面型より動きやすさとLDの広さを重視してL字型に。
素材はダークブラウンのナラ材を選び、リビングとの一体感を出しました。

2Fホールから寝室方向を望んで。
寝室から吹き抜けに開くちょっとした遊び心のある窓が奥さまお気に入り。

リビングとキッチン&ダイニングは、天井から下げた仕切りに緩くアールを付けて空間を分けることで、各スペースでの居住性も高まります。
耐震を目的とした壁（右側）には、絵画のディスプレイ用にライトを設置。